

花きの県別生産出荷概況(7月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	6月出荷見込み 千本		主産地	6月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
小ぎく	秋田県	34 (115%)	精はぎの、舞人、 精しまなみ、小雨、 このみ、紅天下 他	34	15	JAあきた湖東 JA秋田しんせい JA秋田おぼこ JA秋田ふるさと	20	30	50
	茨城県	143 (100%)	白鳥、小雨、はるか、 ホトギス、紅子、玉姫、 いろどり、はじめ、玉手箱 他	5,500	4,500	石岡市、土浦市、 かすみがうら市、 茨城町、小美玉市、 龍ヶ崎市 他	40	35	25
トルコギキョウ	秋田県	12 (110%)	こまちWDレス、パレオシリーズ、 ポヤージュ、レイナW、 コレゾ系、ファイナル系 他	258	152	かつの、あきた北、 秋田しんせい、 秋田おぼこ、秋田ふるさと、 こまち、うご	30	30	40
	山形県	28 (90%)	ポヤージュシリーズ ピッコロサシリーズ ロジーナシリーズ 他白八重、ピンク八重、黄八重	718 (90%)	430 (90%)	JA新庄市、 JA新庄もがみ、 JA山形もがみ、JA鶴 岡、 JA庄内たがわ、 JA庄内みどり、 JA山形市ほか	30	35	35
	茨城県	10 (100%)	ポヤージュ ロジーナラベンダー クラレスピンク パレオピンク 他	550	400	鉾田市、石岡市、 水戸市、つくば市、 つくばみらい市、 八千代町 他	30	35	35
	群馬県	7.1 (90%)	ロジーナシリーズ ポヤージュシリーズ バルカンシリーズ ボレロシリーズ 他多数品種	250 (89%)	240 (89%)	邑楽館林 甘楽富岡 利根沼田	35	30	35
	千葉県	5 (100%)	ピッコロサスノー、レイナホワイト ポヤージュホワイト、ボレロシリーズ等 八重品種を中心に約50品種	460 (100%)	345 (100%)	館山市、鴨川市、 南房総市(丸山、千倉)	30	30	40
			0.6 (100%)	サカタ、ミヨシ品種が中心	90 (100%)	90 (100%)	旭市	40	30
	大分県	6 (100%)	レイナホワイト Mioシリーズ 他	70 (100%)	20 (100%)	臼杵 高田 杵築 佐伯 中津 玖珠	50	30	20
バラ	茨城県	11 (98%)	サムライ、ワム、アバランチェ、 ローテローゼ、アイリーン アマダ 他	650	520	石岡市、かすみがうら 市、 つくば市、茨城市、 水戸市、結城市	30	40	30
	群馬県	15.2 (99%)	アヴァランチェ サムライ 他多数品種	890 (100%)	770 (98%)	前橋市 利根沼田 甘楽富岡	35	35	30
	山梨県	3.8 (100%)	サムライ ローテローゼ他	330 (100%)	320 (100%)	笛吹市(御坂町)	35	35	30
	静岡県		サムライ アヴァランチェ シンディ	1,500 (95%)	1,300 (95%)	JA掛川市 JA大井川 JAしみず JA遠州夢咲	30	30	40
	愛知県		サムライ レッドスター アヴァランチェ シンディ フレアー	3,000 (95%)	1,700 (97%)	愛知みなみ ひまわり 豊橋 西三河	30	35	35
	大分県	9 (100%)	Mシリーズ Jシリーズ 他	600 (100%)	200 (100%)	九重飯田 玖珠九重	30	30	40

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
小ぎく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しんせい:草丈20cm前後、バラツキが目立つ。整枝開始、わい化率が高い。</li> <li>・9月彼岸用は定植が6月8日に終了。</li> </ul>	<p><b>現状</b> 上旬に関しては、茨城などのハウス出荷の品物が前進した影響で数量がまとなり、需要に対して供給過多となり厳しい販売状況となった。中旬以降各地ハウスと露地の切り替わりが上手くいかず、露地物で遅れが見られて入荷減少、需要に対して入荷量は少なく、強めの引き合いとなった。</p> <p><b>見通し</b></p> <p>大田花き 7月上～中旬にかけて新盆需要があり、入荷も各地よりあるも、全体としてみた場合やや安定しないことから、引き合い強めで推移。下旬に関しては入荷量も多くなって、引き合いは落ち着く見込み。</p> <p>FAJ 岩手など高冷地も出荷始まり、入荷量潤沢に。新盆に向け取り引き活発になる予想。</p> <p>東日本板橋花き 7月盆に向け入荷量増える。単価もいい形で横ばいの見込み。</p> <p>世田谷花き 新盆需要で中旬までは安定した動き。</p> <p>第一花き 新盆需要中心の流れ、中旬以降入荷状況による。 @25</p>
トルコギキョウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しんせい:4月低温により3～4月定植(8月採花)は生育にバラツキが目立つ。病害虫の発生は少なく、株落ちも少ないが、生育は1週間程度の遅れ。気温の上昇とともに回復傾向にある。</li> <li>・ふるさと:越冬物は思ったより進んでいない。前半寒くて遅れていたが、5月下旬から好天が続き回復傾向にある。5月定植については前進気味。お盆向けも前進気味。</li> </ul>	<p><b>現状</b> 遅れていた高冷地も中下旬にかけて数量増加。千葉、茨城が出荷最盛期を迎えた。暖地に関してはほぼ終盤期。需要面では前年のような集中出荷もなく、比較的安定した相場で推移した。</p> <p><b>見通し</b></p> <p>大田花き 主力の山形、福島、長野が順調に増加する見込み。需要面では急激な集中出荷がなかなければ、季節的にも日持ちの良い商材としての特色より、利用頻度も高まっていく。</p> <p>FAJ 東北中心の入荷。秋田・山形・福島など出荷最盛期。新盆需要で紫系堅調の予定。</p> <p>東日本板橋花き 暖地はほぼ出荷終わり、高冷地が徐々に増えてくるが生育は遅れている。</p> <p>世田谷花き 暑さにより、産地も切り替わり、遅れていた作型も開花し潤沢。山形、福島、千葉などより入荷。</p> <p>第一花き 業務・新盆需要中心の流れ、産地・品質格差の単価差はでる。暖地産の入荷もあり、厳しい流れが予想される。 @90</p>
バラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷のピークは平年並み。</li> </ul>	<p><b>現状</b> 父の日間際には黄色系品種の引き合いが強くてた。暖地の出荷量が増加し、厳しい販売状況となった。高冷地ものは多くはないが、全体の相場に影響を受けて、同じく厳しい状況。</p> <p><b>見通し</b></p> <p>大田花き 暖地は出荷調整、改植に入り入荷量は減少する。高冷地に関しては例年並の入荷見込み。</p> <p>FAJ 山形、宮城、群馬など高冷地中心の入荷。プライダルフェア以外は引き合い少ない見込み。</p> <p>東日本板橋花き 需要が落ち着き、引き合いは鈍くなって、引き続き厳しい販売が懸念される。</p> <p>世田谷花き 山形、群馬県北部産中心の出荷。入荷も昨年並みの予想。上位等級は引き合い強い。</p> <p>第一花き 特に需要もない月で、産地、品質格差の単価差はでる。日持ちも良くないことから厳しい流れが予想される。 ST@50 SP@55</p>